

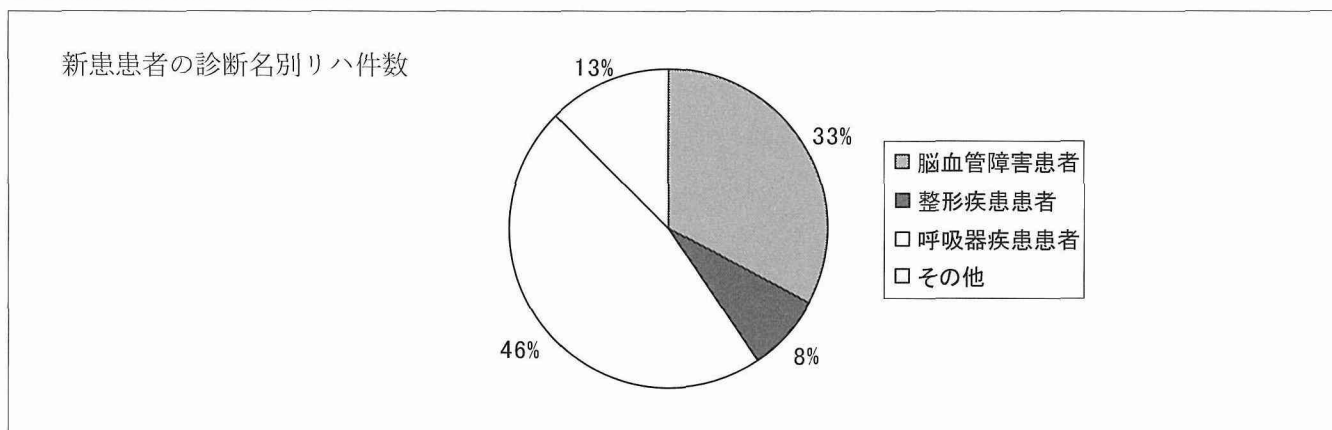
■理学療法科

平成16年度下半期リハビリテーション科年報

〈下半期報告〉

療養病棟開設により、従来の慢性呼吸不全患者のリハビリ件数に加えて、脳血管障害や整形疾患等のリハビリ件数の割合が増加した。そのため呼吸リハビリテーションに加えて、身体機能障害に対する運動療法を施行する割合が増加した。

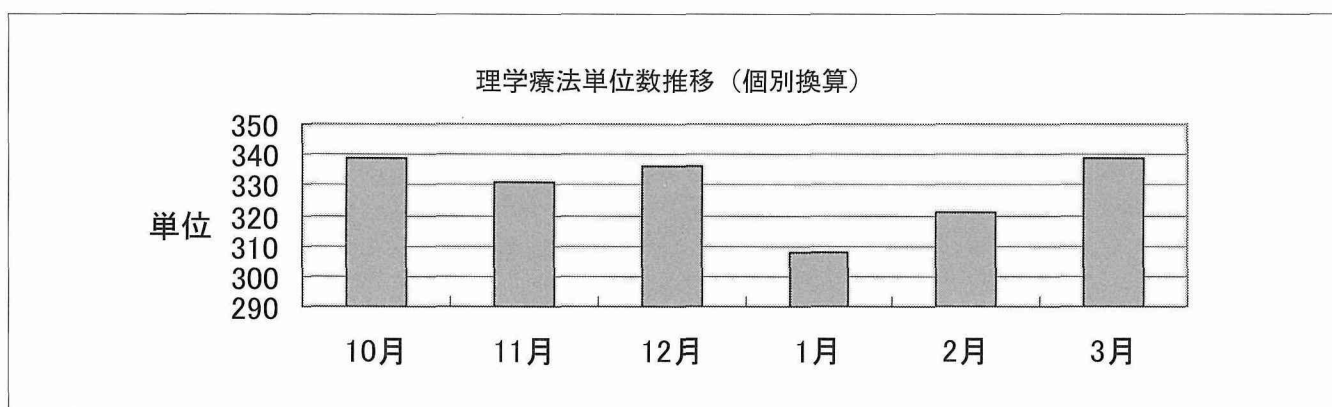
下半期診断名別リハビリ件数割合



業 績

単位数推移

10月	11月	12月	1月	2月	3月
339	331	336	308	321	339



参加した研修・講習会

第41回北海道02kinetics研究会参加

成人片麻痺 ボバース技術講習会参加

今後の展望

平成17年度4月より、新しいスタッフ（理学療法士2名）が採用され新体制となる予定である。スタッフ増員にともない日々の理学療法実施頻度の増加はもとより、呼吸リハビリテーションの充実と療養病棟においては、リハビリ実施計画書を用いたイントラネットでの情報共有化を行う予定である。また、間接業務の効率化をはかる目的にファイルメーカーによる患者台帳管理・日報作成等も作成中である。